



みことくん



ひめちゃん

出雲市の台所事情

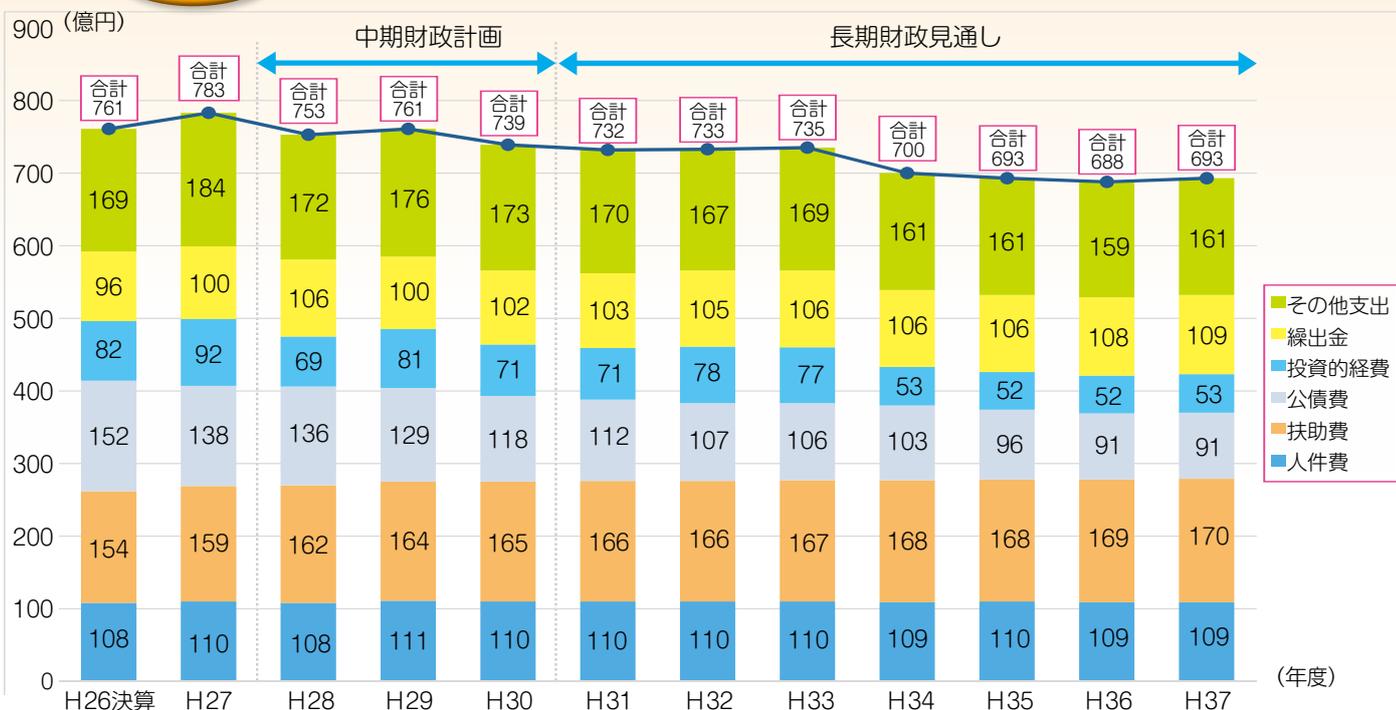
出雲市では、これからも持続して安定的な財政運営ができるよう「出雲市財政計画（H28～H37）」を作成しました。この計画を一つの指針として、毎年の予算を組んでいきます。

ここでは、計画の基本方針4項目について紹介します。

1. 歳出規模の抑制 ～財政力に見合った歳出規模へ～

方針

財政力に見合った歳出規模として、計画期間後半は700億円程度の水準にするよう計画しました。



【人件費】 職員の給与や手当、議員や各種審議会の委員などに支払われる報酬などの経費
 【扶助費】 児童、高齢者や生活困窮者などを支援する経費
 【公債費】 借金を返済するための経費

【投資的経費】 道路や学校、公共施設の整備などの経費
 【繰出金】 下水道事業や国民健康保険事業などの特別会計に支出される経費
 【その他支出】 上記以外の経費



H26 決算と H37 を比べると総額が 70 億円も減るんだね！

国からもらえるお金などが減っていくため、使えるお金も減っていきます。

そんな中でも扶助費は増えているんだね。

子育て支援など社会保障の充実により増えていきます。

出雲市って借金が多いって聞いたことあるけど、H26 決算と H37 を比べると公債費は 60 億円も減るんだね。

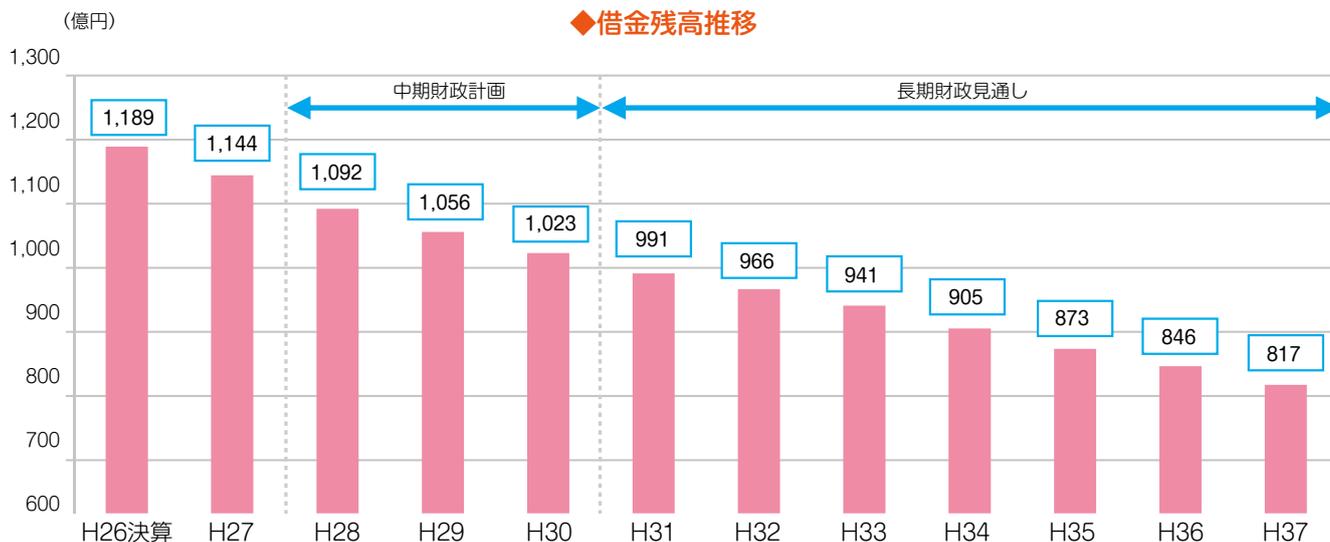
借金はどのくらい減っていくの？

それでは次のページで見てみましょう。

2. 市債残高の縮減 ～借金ほどのくらい減るの？～

方針

出雲市の市債（借金）残高は類似自治体の約2倍あります。新たな借金の抑制や、借金の返済時期の前倒しなどを行い、計画の最終年度には800億円程度まで減らすよう計画しました。



H26決算の1,189億円って多い気がするけどよく分からないなあ。

1,189億円は、人口1人あたり68万円の借金をしていることになります。



そんなに!! H37はどうなってるの？

H37は817億円なので、今の人口が変わらなるとすると、1人あたりで47万円まで減ることになります。



～どうして借金をするのでしょうか？～

道路や学校などの公共施設を建設するときには、一時的に多くのお金が必要となります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の行政サービスが十分にできなくなってしまいます。

また、道路や学校は、今後何十年も使うものであるため、借金をして分割払いをすることで、今住んでいる市民だけでなく、将来施設を利用する市民も含めて負担を平等にしています。

借金をしないと……

市民負担

現在の市民が建設費用を全額負担し、将来の市民は負担なし



現在の市民

将来の市民

借金をすると……

将来の市民負担分

将来の市民も平等に建設費用を負担

市民負担

市民負担

市民負担

市民負担



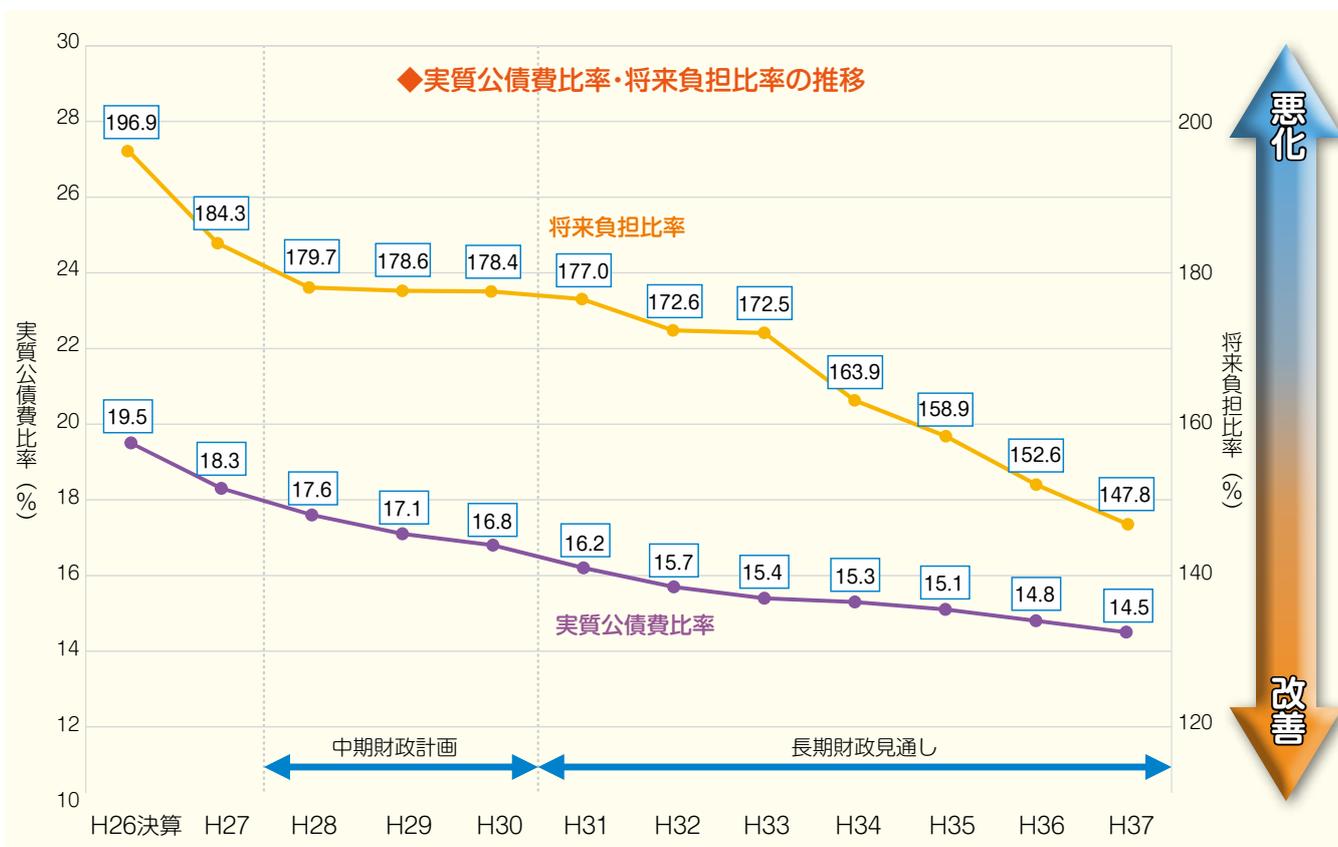
現在の市民

将来の市民

3. 健全化指標の改善 ~実質公債費比率・将来負担比率とは?~

方針

計画の最終年度には、財政の健全化を示す数値である実質公債費比率を15%未満、将来負担比率を150%未満になるよう計画しました。



キーワード：実質公債費比率・将来負担比率とは？

家計に例えると

実質公債費比率とは、家庭の1年間の収入に対する年間の借金返済額がどのくらいの割合かを表す比率のことです。また、将来負担比率とは、家庭の1年間の収入に対して将来支払っていくローンやカード等の返済予定総額がどれだけあるのかを表す比率のことです。



どちらも自治体の財政運営の危険度を示す全国共通の「ものさし」となります。この数値が高ければ高いほど危険な状況にあるといえます。

例えば、実質公債費比率でいうと、H26決算の19.5%って全国的にみてどうなの？



H26決算における出雲市の実質公債費比率の順位は、全国793市区のうちワースト7位となっています。全国の市町村平均は8.0%であるため、早期に改善していく必要があります。



今回の計画では、最終年度に実質公債費比率を15%未満、将来負担比率を150%未満とする方針としています。これは、前回の計画と比較すると早いペースで改善する見込みとなっています。

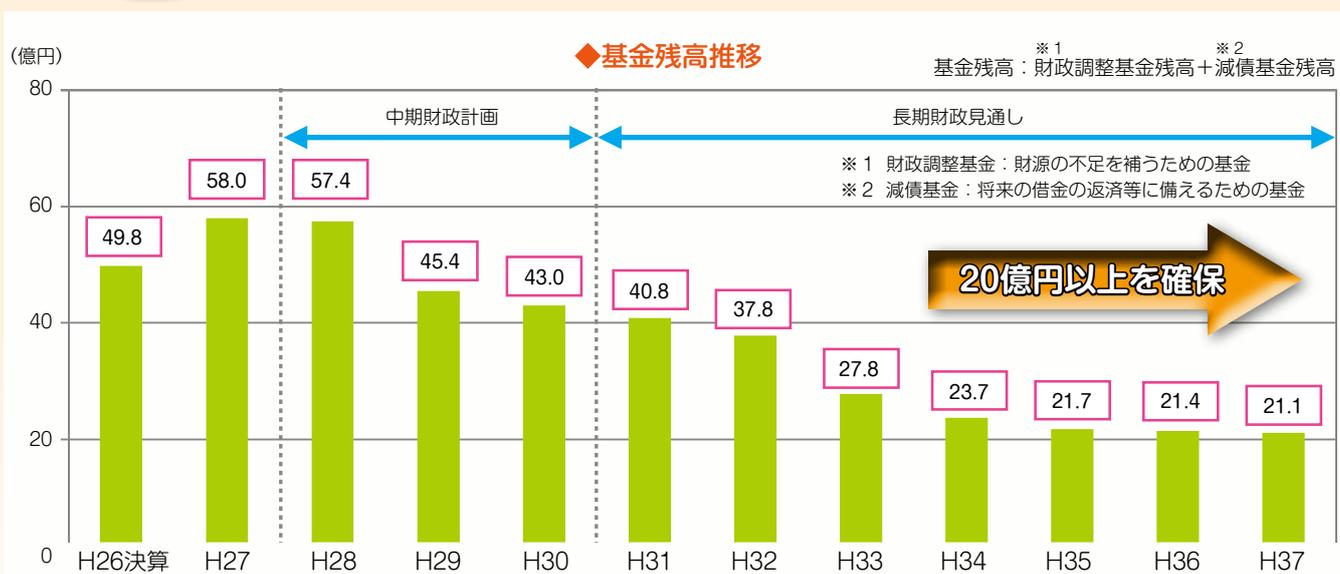


順調に改善していくんだね。でも全国の平均と比べるとまだまだだね。

4. 基金残高の確保 ～出雲市の貯金はどうなるの？～

方針

将来的に基金（貯金）が枯渇することがないように、最低でも基金残高20億円以上を確保します。



どうして貯金が減っていくの？

支出を抑えてはいますが、それでもすべての年度で収支不足が生じます。そのため、出雲市の貯金にあたる基金を取り崩し、穴埋めをしなければならないのです。



まとめ

10年間の収支不足額

前回の計画 (H24作成)

152億円

今回の計画

38億円

114億円
改善

行財政改革の取り組みや国の制度改革による収入増により収支不足が改善しました。

さらに改善していくために
必要なこと

- ① 支出の抑制
- ② さらなる収入の確保



これから出雲市が取り組んでいくこと
～次世代につなぐ安定した財政運営をめざして～



- 事務事業の見直しをはじめ、施設の統廃合や民間譲渡など、行財政改革を推進していきます。
- 地域経済の活性化と定住の促進により、さらなる税収の確保に努めます。
(市民の皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。)

今後もさまざまな状況の変化が予想されますので、定期的に計画を見直していきます。

※出雲市財政計画は、出雲市ホームページに公開しています。 ホームページアドレス <http://www.city.izumo.shimane.jp>



出雲市財政部財政課

電話：0853-21-6608 FAX：0853-21-6518

電子メール：zaisei@city.izumo.shimane.jp

平成 28 年 3 月